



府中市立南白糸台小学校

幸が森だより

URL <http://www.fuchu19s.fuchu-tokyo.ed.jp/>

令和5年11月30日

NO. 567

校長 西尾 克人

TEL 042-365-5381

FAX 042-334-0883

科学に徹し、仲間を信頼し、童心を忘れない

校長 西尾 克人

時が経つのは早く、師走に入ります。少し早いですが、今年もお世話になりました。保護者、地域の方のお力を借りて、創立50周年記念行事を実施できました。感謝しております。ありがとうございました。

さて、今年度の全国小学校理科研究協議会 第56回神奈川大会が11月16日・17日に開催されました。平成28年の大阪大会から全国の小学校で理科を専門とする校長・教員と共に運営に関わっており、懐かしい顔に再会し、喜び多い2日間になりました。

この大会で、小惑星探査機「はやぶさ2」プロジェクト・マネージャー 津田 雄一先生の講演を聞くことができました。「はやぶさ2」は、太陽系の誕生と生命誕生の秘密に迫るミッションです。なんと壮大なミッションでしょうか。津田先生は、600人の科学者や技術者、企業から参加したメンバーを集め、JAXAで統括責任者を任されています。

「はやぶさ2」は2014年12月3日に打ち上げられた後、2019年に2回のタッチダウンによって試料を回収し、2020年12月6日に無事に地球に試料が入ったカプセルを持ち帰りました。

太陽系には小惑星が約6000個あることなど、驚きをもちながら講演を聞きました。「はやぶさ2」が持ち帰った「サンプル」から15種類のアミノ酸（生物を形づくるタンパク質の基になる物質）や鉱物に閉じ込められた「水」も発見され、生命や宇宙の起源を探る一助になりました。サンプルは国を超え、世界の科学者により、分析されています。

「謎と理解の無限の連鎖」が、おもしろい、わからない楽しさや疑問をもつための素養が必要です。

津田先生は「はやぶさ2」のプロジェクトチームについて、こう話していました。

新しいことが分かると、新たに疑問をもち、その疑問を解くことに楽しさを感じる。学ぶということはこの連続です。

「はやぶさ2」は小惑星「リュウグウ」に着いてから、その表面を探査ロボットで探りました。最初に想定していたのは、100m四方の平面にタッチダウンするプログラムでした。科学者たちは、リュウグウの表面にある適切な広さの平面を探すという、「新たな謎」に迫りました。一カ月探したのち、津田先生に「ありました」という報告があったのは、たった6m四方の平面でした。やるしかないと考えた技術者は、プログラムの変更に取り組みました。機体の大きさが6mですから、知恵をしぼり、「はやぶさ2」に地球から電波を通して新しいプログラムを覚えさせていきました。そして、見事に「タッチダウン」を成功させたのです。

科学に徹し、仲間を信頼し、
童心を忘れない

最後に津田先生が話されたのは、「科学に徹し、仲間を信頼し、童心を忘れない」という言葉です。

「科学に徹し」はロジック（道筋を立て、客観的に誰もが納得）を大事にすることです。童心は「楽しむこと」です。

2月16日の理科・生活科の研究発表会に向けて、南白糸台小学校の子供たちにも、「科学に徹し、仲間を信頼し、童心を忘れない」という気持ちをもてるように、学校生活を送らせたいと思いました。